

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)寝屋川テニス&ゴルフ計画	階数	地上3F
建設地	大阪府寝屋川市国松町	構造	S造
用途地域	準住居地域・第一種中高層住居専用	平均居住人員	66人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,075時間/年(想定値)
建物用途	集会所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2018年5月22日
敷地面積	2,991㎡	作成者	高内美代子
建築面積	1,364㎡	確認日	2018年5月28日
延床面積	3,291㎡	確認者	河合宣紀



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.7**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.7

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
スポーツ施設として、周囲との調和を図りながらも活発な印象を与えられるデザインを心がけ、外壁のベースカラーは薄いグレーとし、シンプルなアクセントを施した。敷地は大きな道路に面しているとは言え、周辺は主に戸建住宅が並んでいるため、屋内のテニスコートであるこの建物のボリュームが大きくなりすぎないよう屋根の高さを低くしたり、外壁をセットバックさせるなどの工夫を行った。		
<b>Q1 室内環境</b> 建築基準法を遵守した仕上材 (F☆☆☆☆) を使用。	<b>Q2 サービス性能</b> コート以外の空間(ロビーなど)の天井高さを3mとするなど、開放的な空間を確保するよう配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内に緑地を確保し、周辺の景観に寄与する計画を行った。
<b>LR1 エネルギー</b> 省エネルギー基準を満たしている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上材が容易に分別可能になっている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 標準的な鉄骨造建物となっている。適切な量の駐車スペースを確保し、住宅へ面する部分は目隠しフェンスを設置するなどの配慮を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号 H30-0024

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)寝屋川テニス&ゴルフ計画 新築工事
	建設地	寝屋川市国松町29番1他
	用途/区分	集会所 工場

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B-
--------	----------------	--	----

①	CO2削減		3
---	-------	--	---

②	みどり・ヒート アイランド対策		2
---	--------------------	--	---

③	建物の断熱性		3
---	--------	--	---

④	エネルギー削減		2
---	---------	--	---

⑤	自然エネルギー直接利用		—
---	-------------	--	---

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告		報告しない
-------------	--	-------

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.1	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.4	2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		